

今後の検討方針について

1. 今後の検討方針

当懇談会において平成21年度に検討すべき課題については、前回座長預かりとされたところであるが、各方面の多くの委員から意見が出されていること及び川上から川下における全ての課程に共通的な課題であることを踏まえ、「医療機器のコード化」について検討を行うこととする。

同様に意見が多く出された預託、立会い等については、平成17年に公正取引委員会の「医療機器の流通実態に係る調査報告書」において内外価格差の要因と指摘された付帯的サービスであることから、これらについては厚生労働省保険局医療課が、本年7月以降において中医協に報告予定である「医療材料価格等に係る調査」（英・米・独・仏を除く先進国）の結果を踏まえた上で、次年度において検討することとする。

なお、検討にあたっては、これまでの懇談会において指摘のあった医療機器における保守管理費用の問題など、適宜関心の高い項目についても、弾力的に対応することとする。

2. 平成21年度の検討内容

医療機器のコード化については、平成20年3月28日付厚生労働省医政局経済課長通知により「医療機器等への標準コード付与（バーコード表示）の実施要項」を定めている。

厚生労働省としては、当該実施要項に基づき、段階的にバーコード表示の普及を進めていくところであるが、必ずしも十分に普及が進んでいない状況が見られるところであり、これまでの当懇談会での議論においても、コードの標準化の推進やメーカー・卸業・医療機関における利活用の促進等が意見として出されているところである。

このため、当懇談会においては、コード使用による医療機器流通の効率化・高度化、トレーサビリティの確保、医療事故の防止、医療事務の効率化等の観点から、コードの普及が進んでいない要因の分析とともに普及促進のための方策について検討を行ってはどうか。

3. 検討スケジュール

6月4日 第4回開催

- ① 今後の検討方針
- ② 医療機器のコード化における現状と問題点、データベース標準化の取り組みについて

7月頃 第5回開催

- ① 医療機器のコード化について国内の先駆的取り組み紹介
・医療機関、卸、メーカーの事例紹介等
- ② 医療機器における保守管理の現状について

〈保険局医療課が「医療材料価格等に係る調査」(英米独仏を除く先進国)の調査結果を中医協へ報告〉

9月頃 第6回開催

- 医療機器のコード化について海外の先駆的取り組み紹介
・医療機関、卸、メーカーの事例紹介等

〈コード化についての提言案文作成(必要に応じて調査実施、非公式の作業部会開催)〉

1月頃 第7回開催

コード化についての提言案文検討

2月頃 第8回開催

コード化についての提言文了承

平成22年度

預託、立会い、SPD等の付帯的サービスについて検討

平成23年度以降

前2年間に検討した事項以外の課題の検討